

科目名	宗教と人間				担当	柳澤 正志		
形態	講義	単位数	2	開講時期	2年後期	実務経験	宗教人としての実務経験有	
必修	—				ナンバリング	KB102	DPとの関連	(幼) 1 (総) 1
授業概要	<p>世界の歴史は宗教史であると言って良い程、人間の身近にあるのが宗教である。世界において、それは今も変わらない。本講義では、宗教の持つ社会的意義や本来の意味について考え、宗教が文化に与えた影響や、社会における宗教的な智慧を学ぶ。</p> <p>また、信州は善光寺信仰や諏訪信仰などの全国規模の霊場を有している極めて稀な地域である。そうした地元に根ざした信仰についても学んでいく。</p>							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> 世界と日本における宗教の地位のギャップを認識し、グローバルな価値観を共有できる素地としての宗教的知識を得る ブッダやキリストの言葉を味わい、宗教的価値観や人間の理想像、目に見えない世界や、愛や慈悲といった普遍的価値観について考察を深める いのちや魂について考察を深め、現代社会における宗教的な智慧や実践について理解を深める 							
授業計画	回	内容						
	1	宗教って何？	宗教の持つ歴史的意味と世界の宗教について学ぶ					
	2	仏教といのち	人って生まれ変わるの？					
	3	人間の可能性	仏教で説く空の思想を基に、人間の可能性について考える					
	4	仏教と日本語	情けは人のためならず、って意外と深い？					
	5	キリスト教の愛	汝が敵を愛せよ					
	6	キリスト教と社会奉仕	なぜ海外セレブはボランティアに熱心なのか					
	7	イスラム教の世界	本当は怖くない、イスラム教の教えの基本					
	8	天国と地獄	人間が描き出した理想世界と、悪に対する報いを見る					
	9	日本人と神道	『古事記』『日本書紀』の世界と八百万の神々の「国」					
	10	宗教と社会	宗教の問題点 ～社会と対立する宗教の一面～					
	11	マインドフルネスの世界	欧米人を捕らえるマインドフルネスと坐禅について学び実践する					
	12	宗教と文化	賛美歌や絵画など、人間が創造した美の世界に触れる					
	13	信州と仏教	「一生に一度は善光寺詣り」善光寺と東信地方の意外な関係					
	14	信州と神道	御柱だけじゃない。諏訪の信仰や戸隠の魅力を探る					
	15	たましいのこと	人が人であるために					
評価基準	宗教の言葉や思想は大変難解で、皆さんには取っつきにくいだろう。眠くなる時もあるだろう。そこをこらえて一生懸命に理解しようとする姿勢を最大限に評価する。							
評価方法	授業態度 40% レポート 30% その他 30% (講義ごとの感想文)							
フィードバック 方法								
アクティブ ラーニング								
教科書	プリントを使用							
参考書	必要に応じて指示する							
履修条件	宗教について少しでも知りたい、理解したい、という学生を望む							
授業外学習	本授業の受講者は、事前または受講期間中に、自分の祖先(ルーツ)を調べてみる。親のこと、祖父母のこと、故郷のことに関心を持ち、自分までのいのちをつないでくれた存在について考えること。							
オフィスアワー	講師室や e-mail							